



株式会社エクストランス

X-MON3.13.0

アップデート内容

X-MON3.13.0 リリース内容

Red Hat Enterprise Linux(以降 RHEL) 8 専用の、X-MON をリリースいたしました。

RHEL 6/7 の環境にインストールした X-MON に関しては、**今回のバージョンはアップデートが行えません。**

下記 [RHEL6/7 環境をお使いのお客様について](#) をご覧ください。

RHEL 8 にインストールされた X-MON から、NRPE や NSClient++エージェントを使用し監視を行う環境がある場合の注意点

3.13.0 で X-MON の使用する NRPE エージェントと NSClient++エージェントを更新しています。古いバージョンのエージェントを使用している場合、3.13.0 以降のバージョンでは監視が行えません。

NRPE エージェント :

3.10.0 以前の X-MON バージョンを使用して NRPE エージェントを被監視環境へインストールしている場合、マニュアル「[NRPE アップデートマニュアル](#)」をご参考の上、エージェントの更新をお願いします。

NSClient++エージェント :

バージョン 0.3.9 のエージェントを被監視環境へインストールしている場合、サポートサイトよりパッケージをダウンロードの上、マニュアル「[NSClient++アップデートマニュアル](#)」をご確認いただき、エージェントの更新をお願いします。

RHEL 6/7 環境をお使いのお客様について

RHEL 6/7 環境から RHEL 8 への移行対応と、不具合修正を行った Ver3.13.1 をリリース予定です。

RHEL 6 環境をご利用のお客様は、3.13.1 が最終アップデートバージョンとなります。

RHEL 7 環境をご利用のお客様は、3.13.1 以降も引き続きアップデート対応となります。